

# 松波小学校だより

第4号  
令和5年7月20日  
能登町立松波小学校

## みんなが輝く学校になるために

### ～1学期の頑張り度と成長度～

大変暑い日が続いています。4月の入学式、始業式から、もう4ヶ月が過ぎ、夏休みです。学校経営理念を「地域から応援される学校づくり」としてスタートしました。始業式・全校集会などの話の中で、「あいさつ」「なかよく」「話を聴く」「整える」を【自分から】【みんなのために】という姿勢でどんどん良くして、みなさんがいい成長をしていくことをお願いしました。そのために、学校では、心に響く積極的な指導を行って来ました。「みんなで輝く松波小学校」になるためには、「あたり前のことがあたり前にできる」ことが第一歩です。

### 校長先生からの4つの約束

1つ目の約束「あいさつ」が、身についたでしょうか。あいさつで大事なことは、「自分から進んで」です。あいさつは、心にカロリーを与えてくれ、関わり合いがよくなります。

2つ目の約束「なかよく」が、できましたか。感情が高ぶった時のことばと行動を振り返ってみてください。ありがとうの心の花を咲かせ、人に優しくすると、自分も優しくされます。

3つ目の約束「話を聴く」は、学校の勉強で、基本中の基本です。学習の約束の「話す人の方を見て、うなずきながら聴く」をしっかりしましょう。あたたかな聴き方ができれば、考えること、発表することもできます。そして、質の高い学び合いをめざしていきましょう。

4つ目の約束「整える」によって、りりしい姿をめざします。まず、自分の身なりを整えます。服装、名札、ズックのはき方は大丈夫ですか？次に、身の回りです。机の上、机の中、机の周りを整え、下駄箱のズックをそろえて入れていることです。もっと広げて、廊下や教室、ロッカー周りを整えて下さい。清掃で、学校の学習環境をきれいに整えて下さい。

### ひとつのことばを大切に！ひとつのことばを美しく！

ことばのやり取りから感情が高ぶり、軽率な行動につながる場合があります。ことばのもつ意味を自覚して発信して下さい。ことばを大切に、ことば遣いを丁寧にして、関わり合いをよくしてほしいです。図書室にある本に載っていたこの詩は、子どもたち、わたしたちへのメッセージと感じます。

#### ひとつのことば 北原 白秋

ひとつのことばでけんかして	ひとつのことばでなかなかおり
ひとつのことばで頭が下がり	ひとつのことばで心が痛む
ひとつのことばで楽しく笑い	ひとつのことばで泣かされる
ひとつのことばは それぞれに	ひとつの心を持っている
きれいなことばはきれいな心	やさしいことばはやさしい心
ひとつのことばを大切に	ひとつのことばを美しく



今年度のキーワードは、「子どもの成長」「応援される学校」です。子どもたちの1学期の【頑張り度＝成長度】です。「がんばった」「できるようになった」という成長の実感を大切に、できなかったことは（伸びしろ）、2学期に期待します。また、保護者の皆様だけでなく、地域の皆様の教育活動への参画＝学校への応援と受けとめています。松波小スクールサポート隊、読み聞かせグループひまわり、能登町交通安全協会松波支部、松波駐在所、公民館、松波キッズクラブ、道徳やクラブ活動のゲストティチャーをはじめ、その他多くの皆様が学校へ足を運び、子どもたちのために汗を流して頂いていることに心から感謝申し上げます。

いよいよ、夏休みです。計画的に勉強をし、長期の休みでしかできないことに挑んで下さい。また、むし歯を治すこと、ケガや病気、事故に気をつけるなど健康面や安全面にも配慮した夏休みを送って下さい。

1学期の成果を土台に、2学期はさらに充実した学校生活を送れるよう職員一同、取り組んでいきます。今後とも、本校の教育活動に対し、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

松波小学校 校長 宮本 秀人